

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(5/13)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
健幸長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区(見附市等)	正	3.9	3.8 進捗度 ・総合評価指標としての「健幸度」の開発 104% ・地域住民の生活習慣病リスクと転倒リスク 77% ・介護認定率の増加率の抑制 120% ・中心市街地商店街の一日あたりの平均歩行者通行量の増加 53% 等	3.8 規制の特例等 ・ライジングボラード(自動昇降式車止)による車両通行制限の実施 等 財政支援等 ・歩いて暮らせるまちへの再構成 等 地域独自の取組 ・健康運動事業への財政措置 等	4.0	<p>・概ね順調に推移していることがうかがわれるが、各自治体の成功事例の共有化の迅速化を図り、一層の評価向上を期待する。</p> <p>・歩くことを促すことでスマートウェルネスシティを目指すという方向性に対し、データ整備が行われているところは十分に評価できる。今後は豊富なデータを基に精緻な分析が必要となる。</p> <p>・それぞれの取組の多様性やその波及性のような指標、あるいは対象都市以外を含んだ都市群と比較できる評価指標による判断が必要である。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)